

介護過程 I

担当教員 水上 幸代、吉岡 久美

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 介護福祉士養成の科目の学びを統合して、介護過程の意義・目的・目標を情報収集からアセスメントをし、介護計画を立案する力量を身につける。
2. 介護過程の概要と構成要素を把握して介護過程の理解を深め、情報収集してアセスメントできるように学び、生活支援の目標設定から介護計画策定までの一連のプロセスの理解を深める。
3. 介護過程の一連の流れを理解し生活支援の介護計画を立てる力を身につける。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	介護過程の概要と構成要素〈水上〉
2	介護過程の理解（介護場面における生活上の課題から解決プロセス）〈水上〉
3	介護過程の理解（生活上の課題から自立生活に向けた展開プロセス）〈水上〉
4	生活上の課題から解決過程の基本視点（事例検討）〈水上〉
5	介護過程の意義、目的と生活支援〈水上〉
6	生活支援における介護過程の必要性〈水上〉
7	情報収集の意義と方法（具体的場面から必要な知識と技術を考える）〈水上〉
8	アセスメントから介護計画の全体像の理解 〈水上〉
9	アセスメントの目的〈吉岡〉
10	生活支援の課題解決に向けた情報のとらえ方〈吉岡〉
11	アセスメント（情報収集の方法と分類）〈吉岡〉
12	情報収集の方法と分類〈吉岡〉
13	情報の解釈・関連づけ・統合化〈吉岡〉
14	介護計画に向けたアセスメントの整理〈演習〉〈吉岡〉
15	アセスメントから生活支援の目標〈吉岡〉

【履修上の注意事項】

授業後の復習、授業前の予習を行うこと

【評価方法】

期末試験 80% 提出物 5% 授業態度 5% 取り組み状況 10%

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護過程』中央法規 最新版

【参考文献】

講義中適宜提示する。